

不利益処分の処分基準 個票

所管課かい名 <u>スポーツ振興課</u>		No. 10
不利益処分の内容		蒲原プールの利用の許可の取消し等
根拠法令等及び条項		静岡市蒲原プール条例第7条
行政庁		静岡市長
法令の定め	静岡市蒲原プール条例（平成17年静岡市条例第182号） （利用の許可の取消し等） 第7条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、利用を停止し、又は利用の許可を取り消すことができる。 （1）この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。 （2）第4条第2項の規定による利用の許可の条件に違反したとき。 （3）前2号に掲げる場合のほか、市長が必要があると認めるとき。	
	処分基準	別紙のとおり
	設定年月日	平成17年12月15日設定（令和7年4月1日最終設定）

(別紙)

1 利用の許可を取り消す場合を例示すると次のとおり。

- ①青少年の健全な育成を阻害するおそれのある利用をしようとするとき。
- ②指定暴力団等、その団体の構成員が集団的に又は常習的に暴力的不法行為等を行う恐れがある団体、又はその団体の構成員が集団的に又は常習的に反社会的な行動をとることを助長する恐れがある団体が利用をしようとするとき。
- ③定員を超える利用のとき。
- ④当該利用により建物や附帯設備等をき損又は滅失するおそれがあると認められるとき。
- ⑤火気の使用又は臭気、騒音等を発生させる利用をする場合であって、これに対する対策が十分ではなく、他の利用者や一般市民に危険が及ぶおそれがあると認められるとき。
- ⑥当該利用に伴い多数の人数が集まることにより、交通渋滞その他場内外の混乱が発生するおそれがあると認められるとき。
- ⑦過去において施設管理上の指示に従わなかったなど施設管理上の指示に従わないおそれがあると認められるとき。
- ⑧宗教上の式典その他これらに類する行事として施設を利用しようとするとき。
- ⑨主として物品の販売又は宣伝若しくはこれらに類することを目的として利用しようとするとき。
- ⑩申請書類の記載事項に虚偽が認められるとき。
- ⑪個人的営利を目的とした活動（レッスンや教室）と認められるとき。
- ⑫利用者間のトラブルなど、他の利用者に迷惑が及ぶと認められるとき。
- ⑬施設を故意に破壊し、又は破壊するおそれがあると認められるとき。
- ⑭施設や備品等の損壊や不具合など、施設管理上の必要があるとき。
- ⑮選挙や大規模イベント（プロサッカー、マラソン大会等）の開催等、施設運営上の必要があるとき。
- ⑯その他上記基準に準ずると認められるとき。

2 利用の停止については、個々の申請について個別具体的な判断をせざるを得ず、法令の定めた内容以上に具体的基準を設けることができないため、審査基準は設定しない。